

第28回日本小児泌尿器科学会総会・学術集会

野口 満

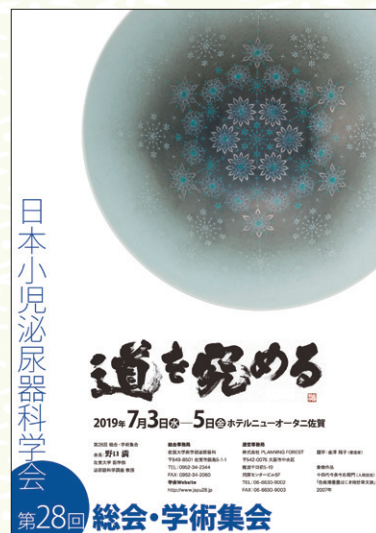
第28回日本小児泌尿器科学会総会・学術集會会長
佐賀大学教授(泌尿器科)

第28回日本小児泌尿器科学会総会・学術集會を2019年7月3～5日に佐賀市のホテルニューオータニ佐賀で開催させていただきました。令和と新たな元号となつての最初の学術集會で、九州での開催は福岡大学泌尿器科 大島一寛教授が担当された後、14年ぶり2回目の開催となりました。学会前日まで九州では、梅雨時期の大雨洪水警報や避難勧告が出された地域もあり天候が心配されましたが、幸運にも雨も上がり無事多くの方々に参加いただきました。

本学会は泌尿器科だけの単独学会ではなく、小児科、小児外科、看護師等の複数の診療科で構成されている学会で、腎・尿路疾患および生殖器疾患に対する外科的治療はもちろん、小児科的、薬物療法、ケア等、幅広い医療に関する学会となっています。

今回の学会テーマを“道を究める”として開催させていただきました。それは、どの仕事でも同じと思いますが、小児泌尿器科学を志す皆さん方の“この道を究めたい”という思いをテーマとしプログラムを構成いたしました。学会案内のポスターも“道を究めた”方々にご協力いただき作成しました。私がダウン症の診療に携わっているご縁から、ダウン症の天才書道家、金澤翔子さんに“道を究める”という題字を書

学会案内の
ポスター



いていただきました。また、佐賀開催であることから、陶芸家で人間国宝第14代 今泉今右衛門さんの作品、有田焼の陶器をポスターに入れ込ませていただきました。

学会プログラムについても“道を究める”ためのプログラムを企画しました。泌尿器科では、小児泌尿器科を専門とされる方が多いわけではありません。しかし、小児泌尿器科疾患は決して少なくはありません。希少疾患、特殊な疾患は別として、頻度の高い小児泌尿器科疾患であれば、泌尿器科の一般診療の中で解決することが望めます。このことから、若手医師や非専門医の先生方、研修医向けに「道場・小児泌尿器科」と題して、エキスパートによる教育プログラムを計画しました。

また、小児泌尿器科専攻の参考になればということから、「究めた方から学び取る」と題したワークショップも企画しました。これは、学生、研修医、若手医師の将来の専攻領域決定に関する迷い、悩み、不安などについて、本学会のレジェンドである島田憲次先生、谷風三郎先生にコメントいただきながら討論し、将来の専攻領域決定の参考にしてもらおうという趣旨のワークショップを企画しました。このワークショップでは日本泌尿器科学会理事長の大家基嗣先生、林祐太郎先生(本学会教育委員長)に司会をお願いし、大家先生からはご自分のこれまでの医師生活を振り



次回会長の宋 成浩教授(右)と



ワークショップ「究めた方から学ぶ取る」の様子

返って、学生、研修医を含めた若手医師に熱いメッセージをいただきました。学生、研修医はもちろん、参加していた学会員にも心に響くものがあったようで、その後の懇親会は大変な盛り上がりでした。

招請講演は、ピッツバーグ大学の吉村直樹先生から「小児における下部尿路機能の発達と障害」と題した講演を拝聴しました。小児排尿障害では、尿路感染や腎機能障害のみならず、いじめや本人の心因反応など様々な問題を抱えています。折しも、日本小児泌尿器科学会では、自治医科大学とちぎ子ども医療センターの中井秀郎教授を委員長とし、乳幼児排尿指導管理ワーキンググループを立ち上げ、小児の下部尿路障害診療についての提言をまとめている最中であることから大変有用な講演となりました。

もう一つの招請講演は長崎大学の三嶋博之先生に「顔貌画像を用いた先天性形態異常症候群の診断補助システムの現状」として、AIを用いた最新の診断技術についてご講演いただきました。尿路・生殖器の

先天疾患を多く扱う本領域において、Breakthrough になる医療で診断技術変革の波を感じた講演でした。

また、小児泌尿器科手術においても腹腔鏡手術が多くなされるようになったことから、手術に関して新たにビデオ & ディスカッションのセッションを企画し、良好な成績、技術向上と安全の確保につながるよう討論いただきました。

開催地の佐賀は鍋島藩ゆかりの歴史的なものも多く、自然豊かなところで佐賀牛をはじめ海苔や日本酒など美味しいものも沢山ございます。学会の合間には、観光や食文化も皆さん楽しまれたようです。次回は、2020年7月1～3日、大宮市で獨協医科大学埼玉医療センターの宋成浩教授が主催されます。今回同様、多くの皆様にご参加いただければと存じます。

最後に本会の開催にあたり多大なご支援・ご協力をいただきました皆様、協賛いただいた企業の方々に心より感謝申し上げます。



学会終了時、医局スタッフと